

♪岡田音頭をご存じですか？



かつての資料を見る塩倉の大澤さん

【岡田音頭とは？】
岡田音頭は昭和28年に公民館の公募により作成された岡田全域の風物が歌いこまれた民謡です。い

つしか歌われなく
出たのですが岡田音頭を知っていたのは9名中2名だけでした。

去る令和3年6月4日の市民タイムスに松本市の画家中村石浄さん岡田音頭の挿絵を公民館に寄贈という記事がありました。

少なかった時代に盆踊りは庶

当時の記録として「娯楽の
なつていき知っている人も少なくなってきたこの歌について調べてみました。

昭和から平成にかけ、どの様に繋がってきたのかは残っており、唯一記録として残っていたのが平成24年に廃れてしまったものを、もう一度復刻させようと当時の岡田地区まちづくり委員会の方がCDやDVDを製作しました。この時のものが今回公民館に寄贈された水彩画になります。



東区民踊クラブの皆様

く思います。

【岡田音頭の現状】
世代により認知の差がありましたが年配の方が知っているかというところでもありませんでした。

生まれも育ちも岡田という60代から50代の方数名にお話を聞きましたが、首を傾げる方もいらっしゃいました。40代から30代の方の認知度が高く「小学校で教わった。1番2番くらいならなんとなく覚えてるよ」とそれがいつしか小学校で教わらなくなり若い世代の認知度は低くなっています。今では唯一、東区民踊クラブの皆さんが継承するのみとなり、夏祭りの際に一部の小学生に指導していましたが、近年は夏祭り自体の中止などもありその機会も失われてしまったようです。これを機会に皆さんに興味をもってもらうことができれば嬉しく思います。

【岡田音頭の現状】
世代により認知の差がありましたが年配の方が知っているかというところでもありませんでした。

民の楽しみのひとつであったが、時の流れとともに盆踊りや運動会も行われなくなり踊る機会も減り、テープの劣化や紛失などで一部の高齢者が歌や踊りを受け継ぐだけである。住民の手で企画、作成されたものであるが後世に残していきたい」と記されています。



歌詞 四番の挿絵



歌詞七番の挿絵



歌詞二番の挿絵

岡田民謡（岡田音頭）

- 一、岡田音頭に 揃いの浴衣
月もまん丸 月もまん丸
ヨイトサノサー
見てござる サノエー
見てござる
- 二、踊り上手と 評判されて
雨の降る程 嫁ばなし
延喜式内 氏神様へ
晴れて添われた 礼参り
- 三、川じゃ女鳥羽よ 堤は田溝
共に岡田の いのち綱
- 四、岡田山あい 棚田の畦に
春を覗いた 露のとう
- 五、反目雲雀の すがしい声を
聞いて美須々へ 朝詣で
- 六、昔殿様 お駕籠を止めて
聞いた反目の 揚げひばり
- 七、日本アルプス 一目おいて
花に酒くむ 芥子坊主
- 八、伊深城山 名残りの桜
里じゃ祭の 笛太鼓
- 九、踊りましようよ 宮大門で
月が並木に 沈むまで
- 一〇、昔なつかし 岡田の宿場
町にや櫓型 茶屋の跡
- 一一、夜桑やる灯がちらちら見えて
岡田音頭が 洩れて出る
- 一二、河鹿ホロホロ 女鳥羽の川で
君を待つ夜の 月見草
- 一三、昔なつかし 馬飼峠
峯とふもとに 茶屋の跡
- 一四、波が涼しい 塩倉池に
うつる恋の灯 蚕飼の灯
- 一五、秋の神沢 リンゴがたわわ
恋を知る娘の 頬の色
- 一六、バスの窓から 指さしながら
あれは芝宮 松並木
- 一七、蚕かたつけ 稲刈り終えて
岡田発つ日の 高島田
- 一八、岡田よいとこ 冬山日向
浅間湯の町 よこに抱く
- 一九、岡田よいとこ 桜の岡田
今日も日が出る 歌が出る

岡田に住んで2年が経った。家を建てる前の埋蔵文化財の調査で、『岡田田中遺跡・岡田松岡遺跡 地表下約25cmで縄文時代・古墳時代・平安時代の遺構・遺物が検出されました。平安時代と考えられる遺物（土師器・須恵器・灰釉陶器）を伴う堅穴住居跡が1件確認されました。』と報告書に記載されていた。

なんと、堅穴住居があったところ、家に建てるのだ。さらに、土器も出るということだ。まさかと思って、基礎工事の時に掘られた土をじっくり見ていたら、教科書で見たことあるような赤茶色の



小林さんの畑から出た土器
右上：古墳～平安時代の須恵器の蓋
右下：平安時代の灰釉陶器
中央二つ：古墳～平安時代の砥石
左二つ：縄文土器

器の破片があった。「これ、土器？」誰に聞いたらいいか悩んだ末、「そういういえば中山に考古博物館がある！」ということになり、聞きに行った。すると、まさにうちの調査を担当された方が出てきて、「これは平安時代の土師器です。」と教え

(東区 西田さやか)

岡田ほっとニュース

「移住者あるあるー庭から土器が出てきて驚愕！」

● 東 区 ●

てくれた。「すごい！」家が完成した後も、庭の畑を耕すと、出てくる出てくる。土器が気になって畑仕事が進まない。何度か考古博物館に聞きに行っていたある日、隣に住んでいる小林秀行さんに「土師器とか須恵器とか出てくるね」と声をかけてもらった。「小林さん、土器に詳しいんですか！」以前遺跡調査の仕事をされていたという。

天ぷらで美味しい。焼き芋で美味しい。そんな素晴らしい食材サツマイモ。よし！サツマイモを作ろう。毎年作っているけれど今年は芋から芽出しをしよう。

動画サイトで見たいろんな方の芽出しの方法。よし、これだ。ふむふむ、温度があがらないと芽が出ないのか。と言う事で、息子が食べ散らかしてあった大きなカップ焼きそばの容器に、ホームセンターで買ってきたバーミキュライトを湿ら

サ・ツ・マ・イ・モ
神沢地区 坂西 敬子

いつも収穫の時に腰が痛くて大変だから少しだけ、3本もできれば良いかな、と考えていたのだが、全然芽が出ない。6月になってもまだ出ない。そこいらでは、サツマイモ

の苗が出始めて焦る。3日悩んでホームセンターの10本1束の苗を買った。多いな、芋堀りは娘にやらせようと企みつつ畑に植えた。萎れて、枯れそうな苗、頑張つて生きてね。5日後、植えた苗の葉っぱは、元気そうに艶々してきた。偉いね、大きくなれよと声をかけ、そういえば、芽出しの芋は？と覗いてみると、可愛い芽がチョココンと出ていた。嗚呼、この子たちを植える場所を作らねば。

岡田音頭

作詞 百瀬千鳥
作曲 高橋軍一



編集後記

6月26日土曜日、南佐久郡川上村文化センターにて、長野県公民館関係者研修会が開催された。塩倉地区のY委員と参加した。全県から集まるというのに県の東の端の川上村とは・・・と思いながら、高速道路で山梨県・長坂ICへ、そこから北上、再び長野県へ。

川上村は黒曜石の豊富な産地でもあり、旧石器時代からの沢山の遺跡が出土する村。見ごたえのある考古博物館が文化センター内に併設されていた。また、この時期は高原野菜の見事な畑が延々と道路の脇を埋め尽くす。貴重な研修と、美しく爽やかな空気の中に浸る事が出来た嬉しい1日となった (S)